

地域社会における社会貢献活動

社会貢献活動【環境】

吉野山の桜を保護する活動

大和ハウス工業

世界遺産でもあり国立公園にも指定されている奈良県・吉野山には約3万本の桜が群生していますが、昨今の環境の急激な変化の影響を受け保全する必要性が高まっています。2008年4月に地元の財団法人吉野山保勝会から協力要請があり、創業者石橋信夫の出身地でもある地元吉野の皆さまとのつながりも重要視し、桜を保護する活動に協力を開始しました。

これまで、チャリティコンサートやフォーラムへの協賛協力を実施しましたが、2010年5月の『国際生物多様性の日』にあわせて、吉野保勝会や県立吉野高校と協働して、ヤマザクラの植樹を実施しました。また、名古屋で開催された国際会議(URBIO)でもメインスポンサーとして協力し、吉野山の桜保全活動をポスター展示で紹介しました。

今後も、桜の苗木育成や植樹を中心に社員参加型の活動を地元の皆さまと協力して展開していきます。



吉野山の桜



育った苗木を山へ植えている様子



植樹に参加した社員



手作りの竹ポッドで苗木を育成



竹ポッドに納まった桜の芽

VOICE 参加者の声

桜の名所として華やかで美しい山、吉野。今回私は「吉野山の桜保全活動」に参加して初めて「自然を守る」という、これまでと違う視点を持つことができました。環境活動について難しいイメージを持っていたのですが、「難しく考えることはない、まず知ることが活動の第一歩だ」と考えるようになりました。これからも「私たち企業が環境のためにできることは何か」を考えて活動に参加していきたいと思えます。



本社
総務部 東 健司

関連項目

[財団法人 吉野山保勝会 ホームページ](#)

六甲山で森林保全活動を実施

大和ハウスグループ

当社グループは2008年11月から、「六甲山系グリーンベルトの森づくり」に参加しています。これは国土交通省六甲砂防事務所呼びかけにより、六甲山の土砂崩れを防ぐ「雑木林」の管理・育成などの保全活動を行うものです。2009年度は当社グループの活動地を『和(なごみ)の森』と命名しました。

活動は、NPO法人日本森林ボランティア協会の方々に作業の指導をいただきながら、2009年度は計3回、のべ62名の当社グループ社員が参加。活動地内での間伐、下草刈りを行い、新たな植樹場所の林内整理を経て、コナラやヤマザクラなどの落葉広葉樹を100本植樹しました。今後は苗木の育成とともに、ハイキング道沿いの見通し確保の活動も進めていきます。



植樹場所での林内整理(間伐・下草刈り)



落葉広葉樹の植樹

「こどもエコクラブ」に協賛、家模型づくりを実施

大和ハウス工業

子どもたちの環境を大切にする心を育む、環境省主催の「こどもエコクラブ」の趣旨に賛同。協賛企業として、2010年2月13日、多摩支店において、「自然を活かした快適な住まいと暮らし方(冬暖かくて気持ちいい、エコな家をつくろう!)」をテーマに家模型づくりを行いました。当日は当社のスタッフが、材料選びや暖かい家にする工夫などをアドバイス。「楽しかった。どうしたら家が暖かくなるかわかった」と好評で、保護者の方にも「環境を考えた家づくりは奥が深いとわかり、いい経験になりました」と喜んでいただけました。



家模型を手にした子どもたちと記念撮影

関連項目

▶ 「こどもエコ・ワークショップ」の実施

全工場で行う植樹活動

大和ハウス工業

当社の全工場では毎年どんぐりの植樹活動を行っています。2008年から始めたこの活動は今年で3年目になり、2010年4月現在の植樹総数は約19,000本に達しています。また苗木を育てるために、約68,000個のどんぐりの植え付けを行っています。今後も環境活動をはじめ、教育や福祉など、さまざまな社会活動に取り組んでいきたいと考えています。



協力会社と共にどんぐりの苗木を植樹

■ 残土再利用と大学生向け見学会の実施

グループ会社

大和小田急建設(株)では、茅ヶ崎市の「茅ヶ崎市合流式下水道緊急改善工事」で、通常は産業廃棄物として処分するトンネルの掘削残土を、食品添加物を主原料とした添加剤を使用して洗浄し、海岸養浜材の砂として海岸に戻す日本初の試みを実現しました。

この実績を広く知っていただくために、各大学に現場見学会の実施を呼びかけ、東海大学工学部土木工学科のみならず、見学会を実施しました。

見学会には9名(学生7名、教官2名)が参加され、環境を念頭に置いた新技術(日本初)を採用したシールド工事を目前にし、土木・建築分野がいかに社会に対して貢献していけるかということについて、理解いただきました。同大学の本間教授からも、「従来は、官庁の立場での話しか聞けなかったが、民間企業の側からの話が聞ける現場見学会が実現でき良かった。」と高く評価いただきました。



トンネル内 シールド工場見学の様子



洗浄後の養浜材見学の様子

■ 琵琶湖の生態系を守る「外来魚駆除釣り大会」開催

大和ハウス工業

琵琶湖の在来種減少の一因とされている外来魚を、「釣り」によって駆除しようという大会を開催。滋賀支店及び協力会社の従業員が参加し、合わせて479匹の外来魚を釣り上げました。滋賀県では、毎年地元の漁師の方々と琵琶湖の生態系を守る活動を実施しています。今回民間企業として初めて参加しました。今後も、環境保全や生物多様性の問題に応える活動を続けていきます。



約150名が参加、ブルーギルやブラックバスを釣り上げました